

2021年度 第6回豊岡市教育委員会の会議（定例会）会議録

○ 開会及び閉会の日時及び場所

2021年9月27日（月）

場 所 豊岡稽古堂3階 交流室3-1

所 在 地 豊岡市中央町2番4号

開会時間 午後1時30分

閉会時間 午後2時50分

○ 出席委員の氏名

教育長	嶋 公 治
委員（教育長職務代理者）	佐伯 和亜
委員	向井 美紀
委員	飯田 正巳
委員	成田 壽郎

欠席委員 なし

○ 教育長、委員及び傍聴人を除くほか議場に参加した者の氏名

事務局	教育次長	堂垣 真弓
	教育総務課長	永井 義久
	教育総務課参事（給食センター所長）	大谷 康弘
	こども教育課長	和田 晃典
	こども育成課参事	吉本 努
	教育総務課参事兼課長補佐	木之瀬 晋弥
	教育総務課教育総務係長	藤田 祐

事務局以外 文化振興課課長補佐 中村 史

○ 日程

第1 会議録署名委員の指名

飯田 正巳 委員

第2 前回の会議録の承認

2021年8月18日（水）開催 第5回定例会

第3 教育長の報告

第4 地域コミュニティ振興部の報告

1 文化振興課

- (1) 「出石永楽館 狂言鑑賞教室」の延期について
- (2) 第72回豊岡市美術展について

## 第5 議事

- 議案第11号 豊岡市放課後子どもプラン事業運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 報告第20号 寄附物件の受納について
- 報告第21号 豊岡市学校給食調理等業務契約候補者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について
- 報告第22号 学校給食センター調理業務等民間委託業者の決定について
- 報告第23号 豊岡市教育委員会に属する事務に関する補助金等交付要綱の制定について
- 報告第24号 令和3年9月市議会答弁概要について

## 第6 教育委員会事務局の報告

### 1 教育総務課

- (1) 豊岡市立豊岡小学校体育館2階の天井部材の落下報告について

### 2 こども教育課

- (1) 問題行動等の状況について
- (2) 令和3年度全国学力・学習状況調査結果概要について
- (3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について

## 第7 委員活動報告

## 第8 教育委員会活動予定

- 1 次回教育委員会会議の日程について
- 2 今後の活動・行事予定

---

開会 午後1時30分

---

(教育長)

ただ今から、2021年度第6回教育委員会会議を開会いたします。本日はすべての委員が出席していますので、会議が成立していることを報告いたします。

### 【日程 第1 会議録署名委員の指名】

(教育長)

日程第1 会議録署名委員の指名です。本日は、飯田委員にお願いしたいと思いますのでよろしく申し上げます。

## 【日程 第2 前回の会議録の承認】

(教育長)

日程第2 前回の会議録の承認についてです。8月18日に開催しました第5回教育委員会会議の会議録について、委員の皆さんの承認を求めるものです。誤った点・修正などございませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

「なし」という声がありますので、会議録については承認することに決定いたします。

## 【日程 第3 教育長の報告】

(教育長)

日程第3 教育長の報告です。前回8月18日の教育委員会会議から、本日の会議までの私の主要な教育活動の概要について報告いたします。本日配付した資料をご覧ください。

### 《教育長の報告概要》

1つ目は、子どもたちの欠席状況である。始業式の週の欠席状況を整理した。8月31日から9月3日までで、病気による欠席は1日に50人から70人であり、ほぼ例年並みとなっている。ところが、コロナ関連の「自分が陽性または濃厚接触者である」「家族が陽性または濃厚接触者である」「家族に風邪症状の者がいる」などで欠席している児童がいるほか、「コロナに感染するかもしれない」「感染させるかもしれない」というコロナ不安により欠席している児童もいる。コロナ関係により欠席している児童は、合わせて、1日に60人から75人であった。つまり、病気による欠席を上回っていることになる。神戸新聞では、神戸市ではコロナ関連の欠席者が1,000人を超えており、その子どもたちの孤立感について対応する必要があるという問題提起の記事が掲載されていた。

今日の校園長会で次のことを話した。1つ目には生活習慣の立て直しが必要であること。2つ目は「家でゲームをしているよりも学校に行くほうが楽しい」というように、子どもにとって学校に居場所があることが必要であること。3つ目に、孤立感を防ぐために、ICTを使って宿題を配信したり、Meetを利用し、先生や友だちから声掛けをしたりすることが必要であること。そうしたことに取り組んでほしいとお願いした。

2つ目は、全国学力・学習状況調査である。状況調査の結果が出て、現在、学校が分析をしているが、ここ5年間の課題は読書に関することである。授業時間外に平日の読書時間が30分以上ある児童・生徒の割合は、近年全国より下回っており、特に、今年度の小学校は5ポイント以上の有意な差で下回っている。併せて、国語も算数も数学も全部、点数としては全国並みであるが、問題は、無回答率が高いということである。今までもそうだったが、特に今回、無回答率がかなり高く、国との差で6.5%多いという状況である。問題が分からないのではなくて、最後まで行きつかない。あるいは、やる気がないかのどちらかである。記述式の問題だけではなくて、3択や4択の選択式の問題でも同じことが起きている。やはり圧倒的に読書量が少ないというこ

とが原因になっているのではないかと思う。

今年初めて、児童生徒質問紙において「家にどれだけ本が置いてありますか」という調査が出された。全国の結果は、家にある本が「10冊以下」と答えた子どもは、小学校で11%、中学校で14%であり、およそ1割強である。「26冊以上」と答えた子どもは、小学校で約30%、中学校で34%である。相関関係がはっきり出ており、「10冊以下」と答えた子どもの平均正答率が54%、「501冊以上」と答えた子どもの平均正答率は71%であり、20%ぐらい差がある。家に本が置いてある家庭ほど学力が高い。これは、単に家に本が置いてあるということではなくて、家族が読書に対して興味を持っているという表れである。そのことがはっきり表れた。

「ユダヤ式天才教育のレシピ」という本がある。その本では、ユダヤ人は天才が多く、ノーベル賞も20%以上の人ユダヤ人であるということが書かれている。グーグルもフェイスブックもスターバックスも、創業者は全員ユダヤ人である。アインシュタインもユダヤ人である。そうしたことはDNAの問題なのかなと思うのだが、そうではないということが、日本人がユダヤ人と結婚して分かったと書かれている。ユダヤ人はずっと迫害を受けていたため、物を持っていても仕方がなくて、価値があるのは頭脳であり、頭脳を持つことに第一義を置き、その環境を作ったということである。

共通したことが家庭の読書環境にある。1つは、みんなが集まるところに本棚があることが大切だということ。2つ目は読み聞かせをすること。読み聞かせは、中学2年生までは読んで理解することより、聞いて理解することのほうが優位だといわれているため、効果がある。3つ目は、身近な人が本を読んでいる姿を目にすること。先生の中には本が苦手な先生もいる。だが、子どもが読んでいる時間に、同じように先生がすごく面白そうな顔をして、夢中になって本を読んでいたりと、10分の時間をついついオーバーしてしまったりするなど、そうした姿を子どもに見せることが、子どもが読書を好きになることかもしれないし、家庭においても、お父さん、お母さん、きょうだいもそうした姿を見せることが子どもが読書を好きになっていくのではないかと思う、そのことも併せて校園長会で話しをした。少し長い目で見ることが必要だが、継続した取組をしていく必要があると思う。

## 【日程 第4 地域コミュニティ振興部の報告】

(教育長)

日程第4 地域コミュニティ振興部の報告に移ります。文化振興課(1)「出石永楽館 狂言鑑賞教室」の延期について、文化振興課長補佐の説明をお願いします。

### 1 文化振興課

#### (1) 「出石永楽館 狂言鑑賞教室」の延期について

《文化振興課課長補佐の説明概要》

出石永楽館狂言鑑賞教室の延期について、資料に基づき説明する。

9月29日(水)・30日(木)の2日間、市内全小学校の6年生を対象に出石永楽館で狂言鑑賞教室を実施する予定であったが、緊急事態宣言発令中であることに鑑み、延期することとした。この事業は、10年以上継続してきた事業であり、ふるさとの誇りである出石永楽館で、伝統芸能に触れる貴重な機会であるため、鑑賞できなかった世代を生むことはなるべく避けたいという観点から、中止ではなく、延期としたいと考えている。延期決定後、各校と調整した結果、12

月 13 日（月）・14 日（火）の 2 日間、実施する。

また、全小学校の 2 年生を対象とした参加型演劇のサンタクロース会議については、11 月中旬から下旬にかけて、市内 3 カ所で実施する予定である。両公演とも、感染症対策として、演者には PCR 検査の受検をはじめ、バスの送迎や誘導時になるべく他校の児童と交ざり合わないようにする。あるいは、鑑賞時の座席の配置などにおいても、各校に安心していただけるよう感染症対策に万全を期して、実施する。

## (2) 第72回豊岡市美術展について

《文化振興課長補佐の説明概要》

第 72 回豊岡市美術展について、資料に基づき説明する。

本年の市展については、6 月定例教育委員会会議後に報告したとおり、市の最優先事項として新型コロナワクチン接種の推進に取り組むため、総合体育館を集団接種会場で使用することとし、WEB 開催を中心に上位賞の受賞作品のみ但馬文教府で展示する。

なお、児童・生徒の部の表彰式については、中止する。このため、例年、教育委員の皆さんにお願いしている表彰式への出席については、今年度は出席のお願いはしない。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(教育長)

招待・一般・高校の部の表彰式はありますか。

(文化振興課課長補佐)

高校の部は中止させていただきます。招待と一般のみ実施します。

(飯田委員)

会場が但馬文教府に変わった理由は、総合体育館が使えないからですか。

(文化振興課課長補佐)

はい、おっしゃるとおりです。総合体育館がワクチンの集団接種会場のため、使用できないからです。

(教育長)

その他ありませんでしょうか。

## 【日程 第 5 議事】

(教育長)

日程第 5 議事に移ります。議案第 11 号 豊岡市放課後子どもプラン事業運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、こども育成課参事の説明をお願いします。

○ 議案第11号 豊岡市放課後子どもプラン事業運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

《こども育成課参事の説明概要》

豊岡市放課後子どもプラン事業運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、資料に基づき説明する。

放課後子どもプラン事業は、国の実施要綱において、運営委員会を設置し、事業計画の策定や活動プログラムの企画、実施した事業の検証・評価を行うことなどが定められている。これに伴って、運営委員会を設置している。

現在、子ども教室は、八代・清滝・福住・高橋・資母の5つの教室を運営している。会議形式での運営委員会しか開催できない要綱の定めとなっているため、今回、要綱第7条で「書面による開催」ができるよう改正した。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、議案第11号 豊岡市放課後子どもプラン事業運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、原案のとおり可決してよろしいでしょうか。

(委員)

異議なし

(教育長)

それでは、議案第11号 豊岡市放課後子どもプラン事業運営委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、原案のとおり可決します。

続きまして、議事（報告）に移ります。報告第20号 寄附物件の受納について、教育総務課長の説明をお願いします。

○ 報告第20号 寄附物件の受納について

《教育総務課長の説明概要》

寄附物件の受納について、資料に基づき説明する。

団体2件、個人2件、合計4件の寄附申出があり、これを受納したので報告する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、寄付物件の受納を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 21 号 豊岡市学校給食調理等業務契約候補者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、教育総務課参事（学校給食センター所長）の説明をお願いします。

○ 報告第21号 豊岡市学校給食調理等業務契約候補者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について

《教育総務課参事（学校給食センター所長）の説明概要》

豊岡市学校給食調理等業務契約候補者選定委員会設置要綱の一部を改正する要綱の制定について、資料に基づき説明する。

改正前は、「委員長は前野副市長」としていたが、副市長交代に伴い、「委員長は副市長」に変更したものである。

(教育長)

ご質問やご質問はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、要綱の一部を改正する要綱制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 22 号 豊岡市学校給食調理等業務における契約候補者の選定結果について、教育総務課参事（学校給食センター所長）の説明をお願いします。

○ 報告第22号 豊岡市学校給食調理等業務における契約候補者の選定結果について

《教育総務課参事（学校給食センター所長）の説明概要》

豊岡市学校給食調理等業務における契約候補者の選定結果について、資料に基づき説明する。

選定委員会を 6 月 25 日、8 月 23 日、9 月 17 日に開催し、最後の 9 月 17 日に 4 社からプレゼンテーションとヒアリングを受け、契約候補者を選定委員会で選定した。今後は、契約候補者と調整を行い、10 月上旬に契約し、2022 年 4 月に業務委託開始を目指す。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(飯田委員)

職員の待遇については、どのように話が進んでいますか。

(教育総務課参事(学校給食センター所長))

仕様書には、現在勤務している調理員については、可能な限り続けて雇用できるよう配慮いただきたいと明記しています。プレゼンテーションのあった4社もそれぞれ職員の受入れについては対応可能という提案でした。勤務内容など若干の違いはありましたが、継続を希望する方に働き続けてもらえるような提案をしていただいています。

(向井委員)

地域は関係ないとはいえ、田舎と関東の都会とでは業者の考え方に相違はありませんか。今まで豊岡市の職員として働いてこられた方にとって、働き方・条件等の厳しさなどの関東との違いはあるのでしょうか。

(教育総務課参事(学校給食センター所長))

選定委員会でのプレゼンテーションを聞かせていただいた限りでは、学校給食という業務の調理に関する点においては、特に関東や村部などの違いはないと思っています。プレゼンテーションの中では、調理をいかに衛生的で安全で安心に行っていくかという点に主眼が置かれていましたが、運営の仕方がこちらの地域にそぐわないとは感じておりません。

(教育次長)

契約候補者に選定した社は、他社と比べて、従業員の離職率が低く、比較的安定的に働ける職場という感じを受けました。近くでは、宮津市でも集団給食を委託されています。また、学校での調理については、兵庫県内に6カ所実績があり、関西が全く初めてということではありません。

(向井委員)

分かりました。少し安心しました。

(教育長)

それでは、豊岡市学校給食調理等業務における契約候補者の選定結果について、ご承知おきください。

続きまして、報告第23号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の制定について、教育総務課参事の説明をお願いします。

## ○ 報告第23号 豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の制定について

《教育総務課参事の説明概要》

豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の制定について、資料に基づき説明する。市では、行財政改革のための決裁手続きの見直しが行われ、8月1日から要綱の制定及び改廃にかかる決裁区分が市長から部長に改正された。これに伴い、現在、市全体で1つになっている補助金等交付要綱を部ごとに分割することになったため、新たに教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱を制定したものである。

施行日については、10月1日としている。現在の市の補助金等要綱も同日付で廃止となる。



(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(佐伯委員)

「豊岡市小・中学校児童・生徒各種大会派遣費補助金」の対象者は、豊岡市小学校長会と豊岡市立中学校長ということですか。

(教育総務課参事)

中学校については校長先生に対して補助をし、小学校については小学校長会という校長先生の会に対して補助することになります。

(成田委員)

あくまで手続き上の廃止・制定であって、各補助金等要綱の内容については変わったところはないということでしょうか。

(教育総務課参事)

はい、おっしゃるとおりです。各要綱の内容については、変わっていません。

(教育長)

それでは、豊岡市教育委員会事務局が所管する補助金等交付要綱の制定を行ったことをご承知おきください。

続きまして、報告第 24 号 令和 3 年 9 月市議会答弁概要について、教育次長の説明をお願いします。

## ○ 報告第24号 令和3年9月市議会答弁概要について

《教育次長の説明概要》

令和3年9月市議会の答弁概要について、資料に基づき説明する。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、令和3年9月市議会の答弁概要について、ご承知おきください。

## 【日程 第6 教育委員会事務局の報告】

(教育長)

日程第6 教育委員会事務局の報告に移ります。教育総務課 (1) 豊岡市立豊岡小学校屋内運

動場天井の断熱材の落下（詳細報告）について、教育総務課長の説明をお願いします。

## 1 教育総務課

### (1) 豊岡市立豊岡小学校屋内運動場天井の断熱材の落下（詳細報告）について

《教育総務課長の説明概要》

豊岡市立豊岡小学校屋内運動場天井の断熱材の落下（詳細報告）について、資料に基づき説明する。

9月1日（水）午前10時30分ごろ、児童が休憩時間に屋内運動場に行ったところ、2階の天井の断熱材が落下しているのを発見し、判明した。落下物は、グラスウール（縦1m×横1.5m×厚さ2.5cm／重さ約2kg）で、原因は、プラスチック製留め具の経年劣化による欠落と考えられる。

緊急対応として、9月1日に屋内運動場を施錠し、進入禁止とした。

類似部材を使用する学校等について、旧奈佐小学校屋内運動場で使っていたが、複数の人間が目視で確認したところ、欠落等はなかった。

今後の対応について、(1)対策工事は、既存天井断熱材に、①金属製プレートをあて、コンクリートビスで固定する。断熱材自体も②円形金属製プレートをあて、コンクリートビスで固定する。工期は、9月から11月で、事業費は、10,000千円で予備費を充用する。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（委員）

なし

（教育長）

続きまして、こども教育課からの報告に移ります。(1) 問題行動等の状況について、こども教育課長の説明をお願いします。

## 2 こども教育課

### (1) 問題行動等の状況について

《こども教育課長の説明概要》

問題行動等の状況について、資料に基づき説明する。

（教育長）

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

（向井委員）

小学校のいじめ認知件数について、昨年度は29件ですが、今年度は60件であり、すごく多いと思います。いじめアンケートを学校で実施する場合、自分の名前を書いて提出するのですか。

(こども教育課長)

アンケートに自分の名前を書いて提出します。アンケートを書いた子どもがいれば、個別に対応していくことになります。

(教育長)

小学校高学年や中学校になってくると、書くのが嫌で書かない子どもがいます。できるだけ発見することに重きを置いています。いじめがあったかどうかではなく、認知したかどうかになりますので、認知件数といいます。

(教育長)

続きまして、(2) 令和3年度全国学力・学習状況調査結果概要について、こども教育課長の説明をお願いします。

## (2) 令和3年度全国学力・学習状況調査結果概要について

《こども教育課長の説明概要》

令和3年度全国学力・学習状況調査結果概要について、資料に基づき説明する。

全国学力・学習状況調査の目的は、子どもの学力や学習状況を調査し、教育施策や子どもへの指導の充実・改善に役立つものである。この調査により、特定できるのは、子どもの学力の特性の一部であり、それを踏まえて分析・対応していくことが大切となる。

調査内容について、教科に関する調査では、以前は知識などの基礎を扱うA問題と、思考力を活用する力を扱うB問題があったが、令和元年度から基礎的な部分と活用する部分を一体化した問題となっている。あわせて、子どもの意欲や学習環境、生活などについての質問紙調査も行っている。

調査結果について、豊岡市の平均正答率は、全国平均正答率と同程度である。差が±5%以内であれば、統計上、有意な差はないとされている。

分布のグラフについて、豊岡市を表す棒グラフは、かつては山が2つある状態で、学力の二極化が見られた。そこで、正答率40%以下の子どもたちへの対応をとよおか教育プランの目標に掲げ、取組を進めてきた。その結果、ノーマルな山に近づいている。しかし、新たな課題も見つかっている。無回答率が今年度多かったことや正答率90%以上の子どもの割合が全国に比べて少ないことが分かってきた。学力上位の子どもも伸ばす教育の必要性があり、今後どのように対応していくのか、協議を進めていきたい。

調査問題について、小6の国語の問題では、目的を意識し、要約して書くものがあり、豊岡市も全国も、正答率は20%台になっている。こうした結果を受けて、市教育委員会では次のような取組を進めていく。まず、学力向上検討委員会による結果分析を行い、課題を改善する授業アイデア集を作成する。研修会等を通して各校に周知し、各校で授業実践を積み上げていく予定である。また、11月20日発行の教育委員会だよりにも、調査結果とその改善策を掲載し、学力の特定の部分から見えてきたことを広く市民の皆さんにお知らせする。

質問紙調査の結果について、教育委員会では質問紙調査の回答を子どもの声として受け止め、課題の発見と課題解決に取り組んできた。次の質問項目は豊岡市の教育で最も大切にしている項目である。質問項目「自分にはよいところがあると思いますか」の結果は、自己肯定感を表して

いる。質問項目「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の結果は、教師との信頼関係を表しており、小学校 95%、中学校 93%と高い数値になっている。

また、質問項目「物事を最後までやり遂げてうれしかったことがある」の結果は、やり抜く力といった部分での子どもの声として受け止め、「学級みんなで話し合い協力してうれしかったことがある」の結果は、協働性といった部分での子どもの声として受け止めている。このような子どもの声を真摯に受け止めながら、改善を重ね、豊岡ならではの教育を進めていきたいと思っている。

(教育長)

ご質問やご意見はありませんでしょうか。

(向井委員)

全国学力・学習状況調査結果のグラフを見ると、豊岡市の正答数が低いのは読解力が関係しているのでしょうか。

(教育長)

正答数が低いことに読解力がとても関係しています。

面ファスナーの問題では、問題の最後まで行きつかない子どもがたくさんいます。この問題は、資料に面ファスナーはなぜ発見されたか、どういう仕組みになっているか、国際宇宙ステーションでどのように使われているかということが書かれてあります。どのように使われているかを回答するのですが、字数制限や資料に書かれている言葉を使うなどの条件があり、結構難しいです。

(向井委員)

私もすごく難しいと思いました。お稽古に来ている子どもが「時間が足りなかった。最後までたどりつけなかった」と言っていました、やはり読解力が関係しているのかなと思いました。

(教育長)

続きまして、(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について、こども教育課長の説明をお願いします。

### **(3) 豊岡市こども支援センター活動状況報告について**

《こども教育課長の説明概要》

豊岡市こども支援センター活動状況報告について、資料に基づき説明する。

不登校の取組状況は、ふれあいルームの通級指導生徒数は実数 2 人、延べ 2 人であり、4 月からの延べ人数は 113 人となっている。臨床心理士等が行う一般相談は、不登校に関する相談で来所 4 人、電話相談 3 人が利用した。

特別支援の取組状況は、電話相談が 14 件、センターへの来所や学校園訪問による教育相談は 46 件である。

家庭児童相談の取組状況は、虐待で家庭相談員が関わった件数が延べ 339 件、障害相談は 13 件となっている。

(教育長)

ご質問、ご意見はありませんでしょうか。これで、各課からの報告は終了いたします。

## 【日程 第7 委員活動報告】

(教育長)

続きまして、日程第7 委員活動報告に移ります。

(向井委員)

夏休みにコロナ陽性者数が結構出ていると連絡を受けましたが、各家庭で収まっていて、クラスターにならなかったことはよかったですと思いました。

昨年の秋の総合教育会議において、GIGA スクール構想により1人1台端末が配備されることをお聞きしました。今後、陽性者が増えて、オンライン授業を行う必要になった場合、豊岡市はどれくらい活用できるのでしょうか。現在の進捗状況をお聞かせください。

もう1つは、私はコミュニティたけの地域づくり策定委員になっています。現在、10年後の竹野はどうあってほしいかという話し合いが行われています。その中で、子どもの防犯に関する話題になりました。学校の統合が進むと、登下校もバス通学が主流になりつつありますが、竹野地区では歩いて通う子どもたちが多数います。しかし、数年後、10年後はさらに子どもの数が減るので、バスで通うほうが安全だという話になっています。安全面を考えると仕方がないと思う反面、竹野地区は自然豊かで美しい町ですので、登下校の際に自然を感じるができなくなることは残念でなりません。今後、統合が進むことになりましたが、登下校も含め、いろいろな場面で竹野の自然や竹野の良さを身近に感じられるような教育を、ぜひお願いしたいと思います。

(教育長)

1点目のGIGAスクール構想の進捗状況はどうですか。

(教育総務課参事)

1人1台端末については、中学校は1月末、小学校も5月末で、全員1人1台の環境はそろったところです。オンライン授業ということになると、家庭での無線LANの環境が必要になりますが、その部分はまだ整備できていません。児童・生徒の世帯の95%程度については、家庭にインターネット、無線LANの環境がありますが、残りの約5%程度の家には、そうした環境がないので、持ち帰っても使えない状況になります。そのことは課題となっています。今後、対応策を検討しなければならないという状況です。

実際の活用状況については、市内でも新型コロナ感染者が出てきており、試験的に家庭に持ち帰って、使えるかどうかを確認してもらっている学校があると聞いていますが、教育委員会では、実際に持ち帰って、授業を行っている学校があるということは聞いておりません。

(向井委員)

主には学校で活用しているということですか。

(教育総務課参事)

はい。今のところは主に学校で活用している状況です。

(佐伯委員)

今年度は教育委員として運動会を観覧しないという方針でした。私は保護者として子どもが通っている小学校の運動会を見に行きました。いずれの学校もそうだと思いますが、午前中のみで開催となっていました。各学校では、見に来る家族の人数制限を行ったり、無観客にしたり、お弁当を家族と一緒に食べないようにするなど、様々な制限がある中で運動会が行われました。運動会の前に子どもから招待状が届きましたので、読ませていただきたいと思います。

タイトルは「最後の運動会招待状『今日まで大切に育ててくれた家族へ』」です。「今日まで育ててくれてありがとう。小学校最後の運動会はいつもと違うやり方や、競技が少なくなるけど見に来てね。徒競走・ソーラン・組み体操しかないけど、よく見てね。2人までしか来れないけど、精一杯の姿を見せるから来てね。お弁当はみんなで前みたいにおべられなくても、最高の弁当を作ってね」と書かれていました。

小学6年生全員が家族に宛てて招待状を送っています。子どもたちは、制限のある運動会をよく理解したうえで、一生懸命取り組んでいることが感じられました。当日、見に行くと、小学5・6年生は2競技しか行いませんでしたが、それでも生き生きとした表情で競技に取り組んでいましたし、終わった後、やりきった感じの笑顔がとてもキラキラしていて、運動会が開催されて本当によかったと思いました。いつもと違う開催状況のため、先生方も準備をしたり、取り組む内容を考えたりするなど、本当に大変だったと思います。練習も大変だったと思います。そうした中、保護者から「開催してもらえてよかった」という安堵の声をたくさんいただきました。

そのことと同時に、やはり運動会というものは朝から行われて、親子で敷物の上でお弁当を食べて、昼からの競技をまた応援するという、いつもどおりの運動会を来年こそは開催できる状況になっていたらいいなと思います。

(成田委員)

弘道小学校と出石中学校の運動会・体育祭を許可を得て、少しだけ見させてもらいました。中学校の体育祭では、観覧は中学3年生の保護者のみに限るという制限があり、しかも保護者席はグラウンドの随分外側に太いロープが張られていて、中に入れないようになっていました。また、生徒にも声をあげてはいけないという制限があり、体育祭につきものの声援は一切ありませんでした。

しかし、私が見ていた入場行進や演技など、どれも立派なもので、心を打たれるようなものでした。声援が送れないため、思い切り拍手を送っていました。素晴らしいと思いました。入場門で次の演技を行う学年の子どもたちが控えているときに、その子どもたちはしゃがんだまま他学年の演技を見ながら、何度も力強い拍手を送っていました。その他の座っている生徒たちも同じです。退場するときには、退場門の近くまでずっと拍手を送っていました。声援はなくても、拍手がすごく生きている体育祭であり、とても気持ちのよいものでした。

今回、生徒たちはあらためて体育祭とはどういう意義があるのか、中学生なりに真剣に考えたのではないかと思います。コロナ禍の今、他の教育活動の意義について、生徒が一生懸命考えることはプラス面の1つではないかと思いました。

(飯田委員)

1点目は、先日、新聞に、あるチェロリストが「コロナ禍に思う」というコメントを寄せていました。「音楽は喜びの友、悲しみの薬である」といった内容であり、なるほどと思いました。今、各学校もコロナ関係により、様々な問題があると思いますので、子どもに心の拠りどころとなるものを見つけてやるのが大事ではないかと思ひながら、コメントを読んでおりました。

過日、日高地域で大火がありました。真夜中の火事だったため、通報が遅れたり、初期消火も遅れたりし、火事のあった家の方は避難されましたが、隣家の方はパジャマのまま外に出てこられて、身震いしておられました。その方の家は幸い被害を免れましたが、その方の心のケアをどうしてあげればよいか非常に悩みました。その方にどのように寄り添いながら癒やしを見つけてあげればよいか悩んでいました。そのときに、先ほどのチェロリストの言葉が頭をよぎりました。

2点目は、先日、かこさとしさんの絵本展に行ってきました。久しぶりに絵本というものに触れたのですが、童心に戻って、ひとときの純真な心を持つことができ、嬉しく思いました。先ほども読書の話が出ていましたが、私は、読書は子どもたちにとって情操教育を育むその最たるものだと思っています。ぜひ、本をいろいろなかたちで読んでほしいと思います。読みかたも千差万別ですが、読むことで試験の問題が早く解ける子どももいます。読解力がないので、ゆっくり読まないの問題が解けない子どももいます。かこさとしさんの絵本展を観ながら、たくさんの本を読むことが子どもの成長の基本になってくると思いました。

3点目は、議会の傍聴に行かせていただきました。市議会議員の皆さんがコロナ関連による学校の様子を非常に気にしておられました。アイティの問題では非常に厳しい質問がありました。当局においては、できるだけ一生懸命丁寧に説明し、議員にしっかり理解してもらえようになればよいと思います。

最後に、城崎小学校・中学校の運動会はとても天気のよい日でしたが、思い切り走った後に、先生から「早くマスクを」と言われて、子どもたちはつけていました。そうした中、子ども3名が倒れて、救急車で運ばれたそうですが、その後の経過はどうでしょうか。教えてください。

(こども教育課長)

学校から報告がありました。城崎小学校・中学校の運動会・体育祭について、中学校は午前8時30分から午前10時までで、小学校は午前10時から約1時間30分で開催すると聞いていました。予定どおり午前8時30分に始まり、徒競走を実施した後に倒れた子どもや気分の悪い子どもが出たようです。気分の悪い子どもは日陰で休ませて、倒れた子どもは救急車で運ばれていきました。学校としては、朝早く涼しい時間であり、また時間も短い中で、そのような状況になることは想定していなかったようです。子どもたちに暑さに対する慣れが十分ではなかったのかなと推測します。校長先生は、開催時間を短くし、練習時間も短くしていたが、最近涼しい日が続いており、運動会当日だけ暖かくなったため、そのような状況になったのではないかと話していました。体育祭は途中で中止をし、残りの競技については別の日に開催すると聞いています。

倒れた子どもについて、学校から昼過ぎに連絡があり、点滴を打って元気に学校に帰ってきて、授業に参加していると報告がありました。中には次の日は休んでいる子どももいるということでしたが、その後は回復して、学校生活を送っていると聞いています。

## 【日程 第8 教育委員会活動予定】

(教育長)

日程第8 教育委員会活動予定に移ります。会議予定や今後の活動について、事務局の説明をお願いします。

### 1 次回教育委員会会議の日程について

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

第7回教育委員会会議は、10月26日(火)午後1時30分から、本庁舎第2委員会室で開催する。

### 2 今後の活動・行事予定

《教育総務課教育総務係長の説明概要》

今後の活動・行事予定について、資料に基づき説明する。

(教育長)

以上で日程は終了となりますが、全体を通して何かありませんか。

(委員)

なし

(教育長)

それでは、次回の教育委員会会議は、10月26日(火)午後1時30分から、本庁舎7階第2委員会室で開催します。

これをもちまして、第6回教育委員会会議を閉会いたします。

---

閉会 午後2時50分

---

この会議録は、会議の内容と相違ないことを証します。

2021年9月27日

教育長

委員